

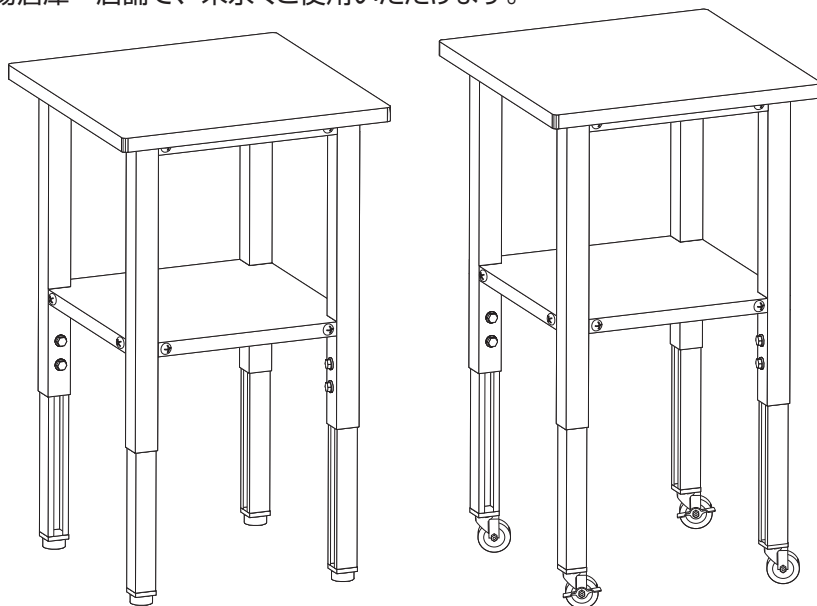
Sサカエ サポートテーブル(高さ調整タイプ)

組立・取扱説明書

このたびは、サポートテーブル（高さ調整タイプ）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。塗装は粉体塗装でサビ・キズ等に強く、汚れも目立ちません。工場倉庫・店舗で、末永くご使用いただけます。

●1台あたりの最大荷重

	均等耐荷重
全体に均等に物を置いた場合	50kg



積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中へ均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。

安全上のご注意 ————— 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

- 耐荷重以上の荷物を置かない。
テーブルが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。
- 足をかけたり、よじのぼったりしない。
転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。
- 不安定な場所に置かない。
テーブルが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。



注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。
転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。
ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- キャビネットの引出しはゆっくりと引いて下さい。
引出しを強く引きますとストッパー破損の原因になり、抜け落ちるおそれがあります。
- キャビネットの引出しを引いたまま上から強く押さえたり、重い物を置いたり、踏台として使用しないで下さい。
故障や事故の原因となります。
- 可動部（キャビネット、キャスター）の隙間に指を入れますと、指をはさむおそれがありますので絶対に入れないで下さい。
- 固定式作業台を引きずって移動しないで下さい。
床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。また本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。
乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。ただし、引出しのある物は鍵をかけ、鍵のないものについては、引出しを抜いて行って下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。
- この製品は、室内または屋内用です。
屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。
変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。
変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- ポリエステル化粧板は比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
- アジャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

部品明細

番 号	品 名	数 量
①	天 板	1
②	天 棚	1
③	底 棚	1
④	支 柱	4
⑤	スライド脚	4
⑥	板ナット	4
⑦	六角ボルト M8×20L	8
⑧	六角ボルト(十字穴付) M8×18L	4
⑨	ナベ小ネジ	16

組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。
※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

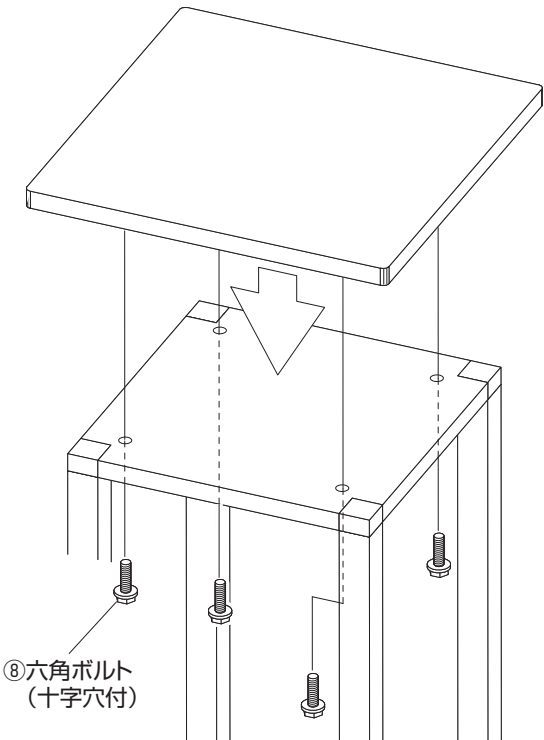
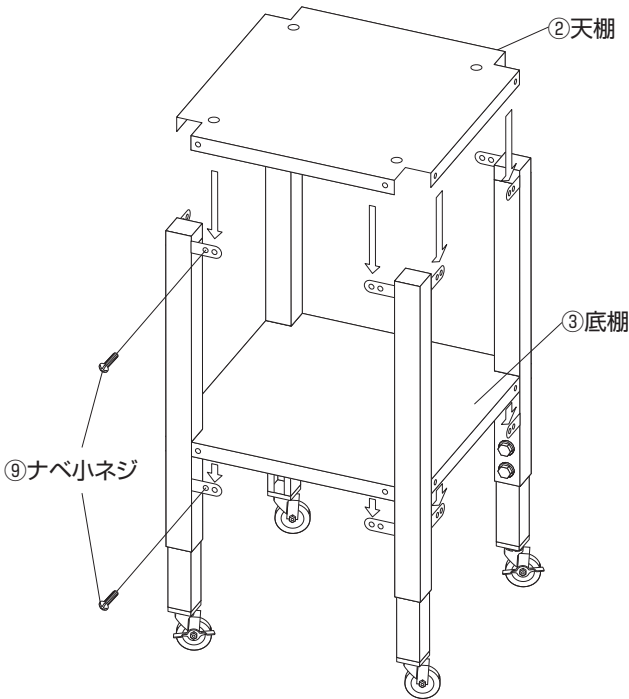
組み立てかた

■ひずみなく製品を組み立てるために

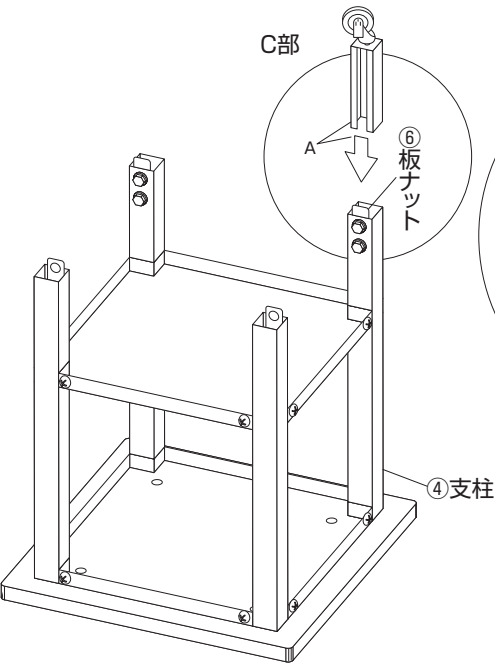
- 組み立て時は、ネジを軽く締めておきます。
- 完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、ボルトを強く締めつけます。

① 支柱に天棚・底棚をナベ小ネジで軽く仮止めして下さい。その際、ストッパー付キャスターが対角になる様にして下さい。全部のネジを入れたあと、ひずみの矯正をしながら本締めして下さい。

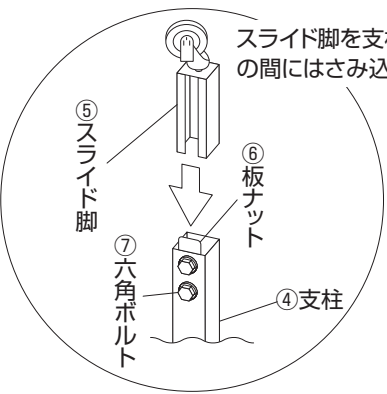
② 天棚と天板を六角ボルト(十字穴付)で固定して下さい。



高さを変更する場合は、テーブルを逆さにして、六角ボルト8ヶ所をゆるめて調整し、再度はずれない様にしっかりと締め直して下さい。



C部詳細



スライド脚を支柱と板ナットの
間にはさみ込む

※h寸法が決まればスライド脚4本を並べてh
の位置に目印を入れておき支柱に差し込む
と楽に高さを合わせる事ができます

